

町内回覧用

疫病退散の祈りが込められた夏越祭（夏祭り）のお知らせ

さて、古来、我が国では疫病流行のたびに神明に疫病退散の祈りが捧げられてきましたが、特にこの夏越祭は、神社における疫病退散、無病息災を祈る代表的な祭りとして現代までその信仰は脈々と受け継がれて参りました。

なごしおおはらえにんぎょうまつり

本年も恒例の夏越大祓人形祭（七月三十日）が間近となり、人形（ひとがた）頒布の時期となりました。ご希望の際には神社社務所にてお受けください。

また、七月三十日夕方よりの夏越祭当日には、境内には「茅の輪」とともに、氏子崇敬者から献灯のボンボリが多数飾られ、例年にも増して疫病退散の祈りを捧げたく存じますので、ご家族お揃いでお参り下さいますようご案内申し上げます。

令和七年七月吉日

福島稻荷神社社務所

氏子各位

記

一、人形（ひとがた）初穂料 一袋（五枚入）三〇〇円也

※「クルマ形」と「ペット形」もございます（お求めは社務所で）

一、日時 七月三十日（水）午後六時より神事

※当日は、家の玄関に飾る疫病退散の「茅の輪守り」と、疫病除けのお神札（おふだ）を境内授与所で授与致します。

コロナ・疫病退散を祈る「夏詣で」のご案内

神主さんと一緒に茅の輪（ちのわ）をくぐって、人形（ひとがた）納めを体験してみませんか。

福島稻荷神社では、毎年七月三十日夕方に行われる恒例の夏越祭（夏祭り）で茅の輪くぐりと人形（ひとがた）納めを実施しています。また、昨年に続き、疫病退散とご家族の家内安全・身体健全を祈って左記の内容で「夏詣で」を行いますので、ご家族おそろいでご参加下さい。

記

◆日時 令和七年七月三十日（水）午後七時～八時半 ※上記の時間帯で随時行います。

◆初穂料 一家族（お一人でも可）二千円

◆募集 限定三十組

◆内容 拝殿でお祓い、祝詞奏上の後、神職の先導で茅の輪をくぐり、人形（ひとがた）に記入して納めて頂きます。ご参加の方には「茅の輪守り」と「人形（ひとがた）」を差し上げます。（※人形は全員に一枚づつ、茅の輪守りはご家族で一つ）

◆所要 十五分程度

◆お申込 当日午後六時より境内受付にてお受け致します。

※事前の電話でのご予約も可能です。 電話〇二四―五二二―二七〇二（社務所）